

# 現代アメリカの大学の性的暴行—現状報告—

鷓 浦 裕\*

【要旨】 現代アメリカの高等教育にはたくさん問題がある。授業料の高騰、学生ローン、学力不足、オンライン化、リベラル・アーツの破綻、教員のモラル、アフーマティブ・アクション [WP: Feb 5, 15, Svrluga, Susan] など。

本論は、性的暴行の問題（実態と対応）をとりあげ、その救いがたい現状とようやく途に就いた改革を報告するにとどまる。いうまでもなく性的暴行は、軍隊、刑務所、不法移民拘留センター、スポーツ組織、宗教組織など、その他の組織にも広がっている。いずれにおいても、組織によるもみ消しと犠牲者の泣き寝入りがみられる。性的暴行はいわば「公然の秘密」であるといつてよい。

弱者の権利や保護をなおざりしてきたことは遺憾であるが、この問題がアメリカ社会全体に蔓延していることを考えると、大学の果たす先駆的役割は大きい。その意味で今後の対応が注目される。

性的暴行をはじめとして大学問題への関心は、いずれも、自分の職業への関心に基づく。国際交流において学生に薦める留学先としてアメリカを含めているため、教育上、同国のキャンパスライフについて情報提供の義務がある。大学や教員は社会に対してまた学生に対してアカンタブル [NYT: Feb 19, 15, Cowan, Joh and Jim Kessler] であってほしいと思っている。

## 一. はじめに一問題の見方、資料など

本論でとりあげるものをはじめ、イシューについては、アメリカ政治の視点からみる。「講義の全体像」（次項）を使い、具体的に説明すると、以下の通りである。

第一にイシューを、社会、経済、文化の3つのカテゴリーにわけると、いずれのイシューにも、社会的、経済的、文化的側面があるので、このカテゴリー化は便宜的である。

第二に、各イシューをみるさい、憲法、自由、平等、メディア、団体、選挙、議会、大統領、行政、連邦裁判所、そして連邦制（州レベル）など、アメリカ統治システムを構成する重要な項目を視点とする。

第三に、各カテゴリーのイシューについて、特徴的なパターンを調べる。そのうえで、さまざまなイシューの理解を通して、アメリカ政治の理解を深める。

ちなみに、姉妹校のリソースを利用した「フィールドワーク」により、イシューを実体験す

---

\* 教授／アメリカ政治

る機会を学生に提供している。

## 講義の全体像

目的		英語で学ぶ 米国a	英語で学ぶ 米国b	英語で学ぶ 米国c	3年ゼミ、4年卒研 大学院ゼミ	フィールド ワーク
		社会 이슈	経済 이슈	文化 이슈	이슈のアップ デート、開拓	이슈の 体験
アメリカ政治	憲法 自由 平等 メディア 団体 選挙 議会 大統領 行政 裁判所 連邦制 映画	人口構成 マリファナ ガン 人種差別 人工中絶 ゲイライツ 死刑 映画	学生ローン 宮利の大学 製薬 食品 ソーダ ファーストフード オイル、 自動車 銀行 クレジットカード 映画	ギャンブル スキャンダル アニマルライツ 児童虐待 政教分離  安楽死 生殖医療 映画	アップデート  新規開拓 移民 刑事司法改革 ジェンダー 性的暴行 障害 インターネット  MOOCs 映画	ミネソタ 10日間 大学寮、バス 大農場 GMO インディアン カジノ 教会比較 ゲイライツ 避妊中絶 ファーストフード ステイトフェア
	統治システムの 理解	社会 이슈の 特徴的パター ンの理解	経済 이슈の 特徴的パター ンの理解	文化 이슈の 特徴的パター ンの理解	↑ ←	アメリカ政 治における 이슈の 理解

資料は以下のとおりである。若干のモノグラフ、政府刊行物、各種団体の報告書、世論調査、そしてオンライン版の新聞（『ザ・ワシントン・ポスト』、『ザ・ニューヨーク・タイムズ』、『ザ・ウォール・ストリート・ジャーナル』）などであるが、詳しくは参考文献をみていただきたい。

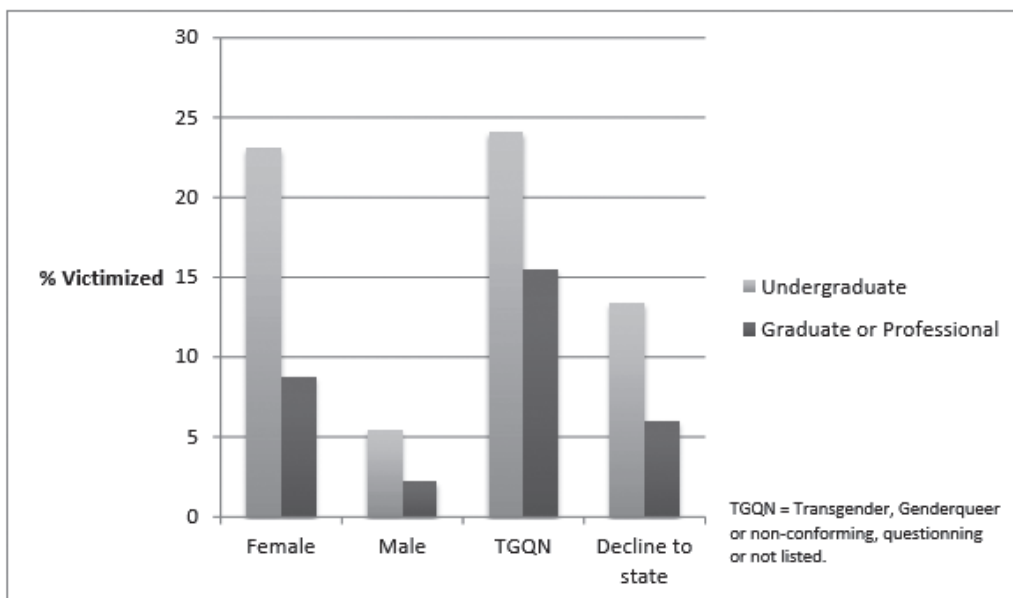
最大の情報源は『ザ・ワシントン・ポスト』である。引用、参考ともに、多用した。ピューリッツァ賞の受賞も多い。しかし2013年、同紙はアマゾンのCEOジェフ・ベゾフ個人に買収されている。課金後のことであるが、これからさらに、どのような変化があるのか、気になるところである。

3紙とも、報道だけでなく、地図や統計など、グラフィックなプレゼンも多く、わかりやすい。その多くを大学の講義で利用させてもらっているが、本論でも一部を使っている。

世論調査としては主に、『ギャラップ』のオンライン版を利用した。確かに日常でも味見や血液検査のさい似たようなことをしているが、たとえ、無作為抽出を仮定したとしても、所詮、スナップショットとしての限界があることを断っておきたい。

## 二．現状

現状について、まず、近年の統計を紹介する。アメリカ大学協会は2015年4月1日から5月1日にかけて、27大学、15万人の現役学生にたいし、キャンパス内の「性的暴行 (sexual assault and misconduct)」について、オンライン上で調査した。結果の一部を、下記のグラフで示しておく [AAU, Sept 21, 15]。



グラフの通り、学女子学生の平均をみると、23%がなんらかの「性的暴行」を受けている（ちなみにいわゆるレイプについては、数%である）。

大学別の調査結果も公表されている。

回答率は極めて低く（19%）、調査法に問題がないとはいえない。

類似の調査として、ほかにも、「ワシントン・ポスト-カイザー・ファミリー財団による調査 [WP: Jun 12, 15, Staff]」がある。2015年1月15日から3月29日にかけて、現在および最近学生だった、1053人にたいして、キャンパス内の「性的暴行」について、電話で調査した、この調査の結果は、アメリカ大学協会のものとほとんど同じであり、現状を示す数字として、両者の結果を概ね受け入れてよい。

いずれについても、「性的暴行」の定義は広く、たとえばアメリカ大学協会の場合「同意のない性的接触」(experienced nonconsensual sexual contact since entering school)となっている [WP: Jun 16, 15, Clement, Scott]。

もともと「キャンパス安全法」（通称クラリー法1990、連邦法）が各大学にこの種の調査と公表を義務づけている。しかし近年、これらの調査報告や各大学による調査報告が頻繁に公表

される背景には、社会における関心の高まり、また「女性に対する暴力防止法」(2013、連邦法)に基づく、連邦政府や州政府の取り締まり強化の動きもある。

次にいくつかの大学の具体例をとりあげる。

たとえばバージニア大学の「事例」について、雑誌『ローリング・ストーン』(2012.11)が報道し、全国的に注目された。のちに、構内の社交クラブのハウスの2階で起きた集団レイプにかんする、犠牲者の告白は捏造だったと判断され、現在、名誉棄損の訴訟が起こっている[WP: Apr 5, 15, Farhi, Paul and T. Rees Shapiro]。しかし先のアメリカ大学協会の統計でみる限り、同大学の学部女子学生の24%が「性的暴行」を受けた報告している。

バンダービルと大学の女子学生が寮で意識不明のうちにレイプされた事件で、2名のアメリカン・ラグビーの選手が、2015年1月、有罪判決を受けている。彼らはレイプシーンの一部を写真に撮り携帯電話で送っていたこともあり、反論の余地がなかった[NYT: Jan 27, 15, AP]。

またウェスト・ポイントなど、軍の大学でも、「性的暴行」の被害が著しい。もともと女性の入学や入隊は1976年からであり、当時は「教育における性差別の禁止」法(いわゆるTitle IX、1972)がまだ制定されておらず、訴えは学内で処理されてきた。加えて、制度的な女性蔑視もあり、訴えそのものをとりあげない文化があるという[NYT: May 12, 15, Anderson, Ashley and Elizabeth Deutsch]。

ちなみに防衛省によると、2012年にはアメリカ軍のなかで「望まない性的接触」の訴えが18,900件(その内、10,400件が男性、8500件が女性)あり、女性の件数は女性兵士の8%にあたるという。しかも訴えの62%に対して「報復」があったとも報告されている[Dept of Defense, Feb 2015]。もともと大学への調査は、軍への調査がきつかとなっている。

さて大学キャンパスにおける「性的暴行」の増加を説明する背景的な要因としては、次のものがあげられる。

第一に、寮の規制緩和である。周知のように、アメリカの大学は入寮を義務づける特徴をもつ。70年代までは、寮は男女別の建物であり、入館についても厳しいルールがあった。しかしそれ以降、実態に押されるかのように、部屋のみを別とする寮が主流となっている[WP: Jan 28, 15, Dvorak, Petula]。

第二に、フラタニティやソロリティなど、ギリシア文字の名前の社交クラブが、所有するハウスを中心に、パーティなど、活動が活発化している。とくに先輩による新入生へのイニシエーションなどで、飲酒をふくめ、行動を強制するカルチャーが目立つようになっている[WP: Apr 29, 15, Shapiro, T. Rees]。ちなみに、社交クラブ主催のパーティについては、『アニマル・ハウス』(1978)や『ネイバーズ』(2014)などの映画が参考になる。

ちなみにフラタニティとソロリティ: 大学など、アメリカの高等教育の学生のための社交クラブは、男子学生のためのものはフラタニティといい、女子学生のためのものはソロリティという[WP: Mar 10, 15, Svrluga, Susan and Nick Anderson]。性的暴行はこうした団体が所有するビルの中で起こっている。現在でも、加入条件として、黒人の入会を拒否しているところが

多く、人種差別の温床となっているという批判もある [NYT: Mar 11, 15, Fernandez, Manny and Erik Eckholm]。

第三に、女子学生の割合の増加に伴い、気軽に性的関係をもつ、いわゆるフックアップ・カルチャーが浸透している [NCES: July 2014; NYT: Mar 26, 14, Anderson, Nick]。大学だけでなく、この文化はオンライン・デイトングの人気など、世間一般に広がっている [WP: Oct 2, 15, Rudder, Christian]。

そして最後に、飲酒である。統計によると、大学の飲酒による事故はきわめて多い。年間で見ると、1800人が亡くなり、60万人が負傷している。学習への悪影響さらに大きい [WSJ: Jan 29, 15, Belkin, Douglas]。また「デイト・ドラッグ」として使われる場合もあり、学生がまた飲酒により意識がないうちに性的関係を持たされる被害者は年間10万人を超えるという [Hingson: Jul 09; NIAAA: Apr 15]。

### 三．政府の対応

連邦議会をみておく。関連する連邦法として、連邦議会はこれまで、公民権法（1964）の Title IX として「教育における性差別の禁止」法（1972）、「キャンパス安全法」（Clery Act、1990）がある。これらにより、少なくとも連邦の補助金を得ている大学は、女性に対する性的暴行をふくめ、キャンパス内の暴力事件を教育省に報告し、また公表しなければならないことになっている。また近年、連邦議会は「女性に対する暴力防止法」（Violence Against Women Act、2013）を制定している。

しかし AAUW の報告によると、91%の大学が、2014-15年度にレイプの届はなかったと教育省に報告したという。「実態に反する」と AAUW はコメントしている [WP: Jan 14, 16, Kueppers, Courtney]。

2015年、オバマ政権による対策委員会の設置や教育省による調査の結果を受けて、連邦議会では上下両院で、性的暴行の自主的な調査とその結果の公表をすべての大学に義務づける法案が超党派で提案されたが、いずれの院でも廃案となっている [WP: Jul 29, 15, Svrluga, Susan; NYT: Jul 30, 14, Steinhauer, Jennifer]。また2015年4月、各大学に、独立した「タイトルIXコーディネーター」の設置し性的暴行の訴えに対応することを義務づけている [DE: Apr 24, 15]。加えて、2015年7月、上院では“*No Child Left Behind*”法の改定のさいに、高校に性的関係についての教育を義務づける項目を含めるなどの動きもあった [WP: Jul 19, 15, Brown, Emma]。

連邦行政をみておく。オバマ政権は性的暴行の問題への対応に力を入れている。2014年1月、性的暴行対策をペンタゴンに命じたのち、閣僚や上級顧問を招集し、大学対策のための特別委員会を設けている [NYT: Jan 22, 14, Calmes, Jackie]。また同政権の教育省（の公民権課）はまず、報告義務の違反の恐れのある大学を調査した。4年間かけて調査したと、139大学で163件の訴えが未対応のままであることが判明した。2015年9月、同課はその結果を各大学に通達して

いる。なかでも、バージニア大学は2008年から2012年にかけて、50件の訴えのうち、レイプや集団レイプなど21件をとりあげていなかったという。

州政府の対応について、いくつかの具体例をあげておく。カリフォルニア州では、2014年9月、州議会がキャンパスで横行する性的暴行への対策として、Affirmative Consent (“yes means yes”) 法を可決し、ブラウン知事が署名している。同法は性的関係をもつさい、学行動ごとに相手の同意を確認することを、学生に義務づけている。言葉だけでなく、うなづき、近寄りなど、明確な意志を示す動作も「イエス」に含まれる。しかし沈黙、無抵抗は同意とみなされない。また薬物、酩酊、無意識（熟睡など）なども、同意とはみなされない。

同州はこの州法を、性教育の時間で、高校でも周知徹底することした[*NYT*: Oct 14, 15, Medina, Jennifer]。高校でも性的暴行事件は起きている[*WSJ*: Mar 13, 15, Phillips, Erica E.; *NYT*: Aug 18, 15, Bidgood, Jess and Motoko Rich]。

同様の法案はメリーランド、ミシガン、テキサス、ユタなど、他州でも検討された。バージニア州やニューヨーク州では、性的暴行の訴えについて、学外の法執行機関への報告書を義務づける法案が検討された。しかしこうした州議会の対応には、拙速の感がある。とくに犠牲者に当局への報告を義務づける法案は、犠牲者への配慮に欠けるといわざるをえない[*WP*: Jan 26, 15, Editorial Board]。

確かにカリフォルニアをはじめとする、これらの州法はいわゆるグレー・ゾーンに明確な境界線を引く試みとして注目すべきである。しかし性的関係は、当事者間のその後の関係の成り行きによって、大きく左右される場合が多い。したがって学内で問題とするさい、「被告」に不当な負担をおしつけるという懸念がある。また学内で「有罪」とされた「被告」は、刑事裁判では無罪となることも予想される。一般的に、刑事における性的暴行の定義には、(暴)力とその脅しという要素が含まれているからである。さらに、問題を扱うさいの学内の人材についても、調査や判断の能力や経験について、懸念する声もある。

じっさい、「被告」が刑事裁判で巻き返した例もある[*NYT*: Oct 14, 15, Medina, Jennifer]。

#### 四．大学の対応

大学による改革の動きは以下の通りである。第一に、強い酒やそれらの混合を禁止するなど、性的暴行が起きるきっかけとなっている飲酒の規制を強化している。

第二に、社交クラブ、そのハウス、そして寮の規律を強化している。たとえば、パーティや飲酒のさい、「しらふ」、「正気」の学生の監視 (bystander Intervention) を義務づける。ゲスト・リストの作成を義務づける。そして違反の場合、活動の一時停止など、罰則を設ける。ほかに、ペン・ステイトでは、女子学生に「二階に上がってはいけない」という指導をしている[*WP*: Mar 24, 15, Paquette, Danielle]。

第三に、相手からの合意のとりつけなど、性行動における手続きを義務づける。

第四に、性教育科目、学内のオンラインビデオ、民間サイトの利用（たとえばEVERFI）など、予防策を強化する。新入生に性教育科目を提供する大学もある[WP: Sept 22, 15, Shapiro, T. Rees]。またジョージ・ワシントン大学のように、red, green and yellow light cuesのゲームを主催するところもある[WP: Oct 5, 15, Stein, Perry]。しかし「予防プログラム」の成果はあがっていないというデータもある[NYT: Jun 10, 15, Hoffman, Jan]。

第五に、キャンパス内に派出所を増設し、危険な場所や時間帯におけるエスコート・サービスの提供など、監視を強化する。またホットラインを新設する大学もある[WP: Jun 17, 15, Svruga, Susan]。ちなみに護身用に銃の携行をすすめる大学もある[NYT: Feb 18, 15]。

そして最後に、訴えの却下、自主退学など、加害者に対するこれまでの甘すぎる処罰を再検討する。確かに加害者の単なる追放では解決できない問題である[WP: Oct 4, 15, Mitchell, Clea and Trent Lott]。しかし成績証明書に記録するという対応などについて、行き過ぎを指摘する教員グループもある[NYT: Sept 10, 15, Bazelon, Emily]。あるいはまちがって追及され、自分の主張ができず、レイピストの汚名を着せられた学生への対応も必要である[WP: Jul 20, 15, Svruga, Susan]。

いずれにせよこうした改革を進めるだけでなく、ミシガン大学、プリンストン大学、スタンフォード大学など一流校や、とくに教育省から注意を受けた大学は、性的暴行の調査結果を公表するだけでなく、その実態や改善策を教育省に報告している。

## 五. おわりに

アメリカは、性的暴行が蔓延している（ことが、少なくとも報道されている）社会である。軍や学校のほかにも、刑務所で毎年8万人の犠牲者がいるという[DJ: Mar 2013]。少年院[WSJ: Jan 1, 14, Elinson, Zusha; 映画『スリーパーズ』（1996）]、不法移民拘留エンター[NYT: Feb 6, 15, Preston, Julia]、精神病院、介護施設、少年少女のためのスポーツクラブ、そして教会など、いたるところで起きている。

いくつかエピソードをあげておこう。

大統領も例外ではない。2016年の大統領予備選挙の候補者ヒラリー・クリントンも対応を公約とした[NYT: Sept 14, 15, Haberman, Maggie]。しかし有罪判決はないものの、夫のビル・クリントン元大統領を性的暴行で訴えている女性が複数いる。かなり以前のことであるが、先の公約と同時に夫のビルを選挙運動に動員したことで、ヒラリーの選挙運動はダメージを受けた。

また2015年の後半から、コメディアン、ビル・コスビーをシリアル・レイピストとして訴える女性がかミング・アウトし始め、世間を騒がせている。しかも被害者を名乗る女性だけのおよそ40人を超えている。多くはかなり以前のものであるので、いわゆる時効が成立している場合が多い。しかしフィラデルフィアのケースが刑事訴訟として進められている。芸能界活動だけでなく、大学教育にも貢献し各地の大学の卒業式に招かれる人物だった。しかし大学教

育とかかわる機会を利用し、性的暴行に及んでいたことはまさに皮肉である [NYT: Oct 6, 15, Ember, Sydney and Colin Moynihan]。

このように性的暴行はアメリカの風土病の一つだと言ってもよい。正確な全国統計はないが、一説に、レイプの犠牲者は5人に1人、2200万人にのぼるといふ。その年齢による内訳は左のグラフのとおりである [WH: Jan 2014]。各地の警察には検証されないレイプ・キットが、推定で10万件ほど棚上げされている。確かに2015年の支出案で、連邦議会がそれへの対応として4100万ドルを計上しているが、効果は出ていない。結果として、犯人が野放しにされている [WP: Jun 16, 14, Hsu, Specer S.; Jul 7, 15, Editorial Board]。

また一般に証明の負担が課されるため、裁判は被害者にとって難しくつらいものとなり、このことが加害者をのさばらせる原因ともなっている。力の行使をレイプの必要条件として定義するかぎり、この傾向は変わらないという意見もある [NYT: Aug 26, 15, Bazelon, Emily]。

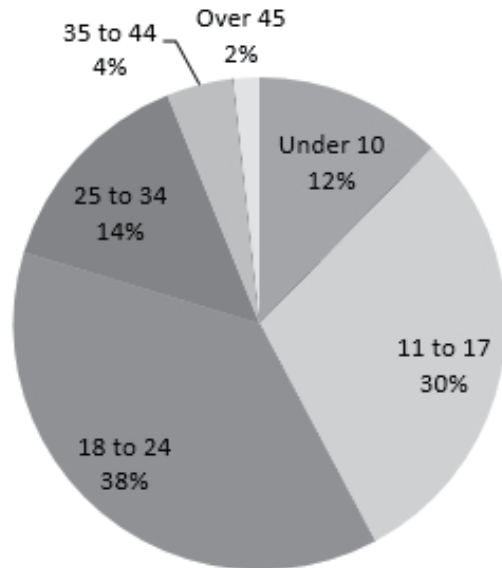
また性的暴行のきっかけとなる飲酒についても、事態は深刻である。報告によると、年間の志望者は2,200人、一日に換算すると6人、とくに中年男性 (44～54歳) や白人の割合が高いという [CDC: Jan 6, 15]。

飲酒以外も、現在のアメリカには人種差別や薬物など、いろいろな問題があり、キャンパスをふくめて、安全な場所とはいえない。たとえばウェスレイアン大学では、2015年2月、薬物過剰摂取で10人以上の学生が救急車で搬送される事件が起きている [NYT: Feb 23, 15, Hussey, Kristin and Tatiana Schlossberg; Mar 16, 15, Scholssberg, Tatiana]。

確かに社会全般のこうした深刻な状況のなかで、今回、大学が性的暴行の蔓延に対して改革を開始したといえる。しかし改革の最も重要な柱となる、キャンパス・セックスについて、ステップごとに相手の同意を得るというルールを決め、それを遵守させるために、講習を実施するという方針は、何を意味しているのだろうか [NYT: Jun 27, 15, Shulevitz, Judith]。そもそもプライバシーがもっとも尊重されるべき領域に、行政が踏みこむことになるのだろうか。学生はほんとうに確認しあうのだろうか。その点は疑わしい [NYT: Jul 28, 15, Keenan, Sandy]。

しかしキャンパスの性的暴行の問題については、明るい兆しもある。とくに訴訟の分野において、被害者に不利な流れを変えた人たちがいる。コロラド州ボルダーの二人の弁護士である。その一人、ジョン・クルン (John Clune) は、もと地元検察官で、“Cobe Bryant Case” (2003年、和解)の原告を弁護したあと、ボルダーへ移った(2007)弁護士である。もう一人、ベイン・カー

Age at first rape (females)





(Baine Kerr) はもともと医療過誤専門の弁護士だった。彼らは数年前から、性犯罪犠牲者を支援する諸団体と連携しながら、被害者を支援している [WP: Jul 9, 15, Hobson, Will]。

彼らの訴訟戦略は、加害者を訴えるのではない。連邦議会が公民権法 (1964) の Title IX として定めた「教育における性差別の禁止」法 (1972)、「キャンパス安全法」(Clery Act, 1990) に基づいて、被害者への対応を怠る大学当局を訴えることで、被害者救済の道を開いたのである。とくに将来プロスポーツの花形選手になりそうな大学生アスリート (や入学予定の高校生エリート) による事件を扱うため、脅迫も多いという。

いうまでもなく大学の使命は、社会改革を模索し、その成果を社会に還元していくことにある。決して社会悪の温床であってはならない。『犯罪白書』によれば、日本にも毎年1,000件を超える強姦の報告がある [法務省: 2014.11]。その中にはキャンパスで起きたものもあるだろう。早稲田大学の「SuperFree 集団レイプ事件」もあった。性的暴行の問題に対するアメリカの対応に期待している。

## 参考文献

### 著書、論文

- Armstrong, Elizabeth and Laura T. Hamilton, 2013, *Paying for the Party: How College Maintains Inequality*, Harvard University Press
- Fink, Brandy, 2010, *Disrupting Fraternity Culture: Folklore and the Construction of Violence Against Women*, Dissertation.Com
- Hingson, Ralph W., Zha, Wenxing and Elissa R. Weitzman, “Magnitude of and Trends in Alcohol-Related Mortality and Morbidity Among U.S. College Students Ages 18-24, 1998-2005,” Jul 2009, *The Journal of Studies on Alcohol and Drugs*, 19: 12-20.  
<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC2701090/> Last accessed 24 Jan 15
- Kimbrough, Walter, 2003, *Black Greek 101: The Culture, Customs, and Challenges of Black Fraternities and Sororities*, Fairleigh Dickinson University Press
- Kimmel, Michael, 2009, *Guyland: The Perilous World Where Boys Become Men*, Harper Perennial
- Syrett, Nicholas, 2009, *The Company He Keeps: A History of White College Fraternities*, The University of North Carolina Press

### 政府刊行物など

- CDC[Centers for Disease Control and Prevention]  
Jan 10, 12, Staff, “Binge Drinking: Nationwide Problems, Local Solutions” <http://www.cdc.gov/vital-signs/BingeDrinking/index.html> Last accessed 24 Jan 15
- Jan 9, 15, Kanny, Dafna, Robert D. Brewer, Jessica B. Mesnick, Leonard J. Paulozzi, Timothy S. Naimi and Hua Lu, “Vital Signs: Alcohol Poisoning Deaths — United States, 2010-2012,” *MMWR* (Morbidity and Mortality Weekly Report), Jan 9, 15, 63(53): 1238-1242.
- Jan 6, 15, “Alcohol Poisoning Death”  
<http://www.cdc.gov/media/dpk/2015/dpk-vs-alcohol-poisoning.html> Last accessed 15 Oct 15
- DD[Department of Defense], Feb 2015, “Department of Defense Annual Report on Sexual Assault in the Military: Fiscal Year 2014”  
[http://sapr.mil/public/docs/reports/FY14\\_Annual/FY14\\_DoD\\_SAPRO\\_Annual\\_Report\\_on\\_Sexual\\_Assault\\_Full.pdf](http://sapr.mil/public/docs/reports/FY14_Annual/FY14_DoD_SAPRO_Annual_Report_on_Sexual_Assault_Full.pdf) Last accessed 16 Oct 15
- DE[Department of Education]  
Apr 24, 15, “Letter,”

<http://www2.ed.gov/about/offices/list/ocr/letters/colleague-201504-title-ix-coordinators.pdf>

Last 18 Oct 15

Sept 21, 15, "Letter,"

<http://apps.washingtonpost.com/g/documents/local/letter-of-finding-from-the-us-department-of-education-office-for-civil-rights-to-the-university-of-virginia/1750/>

Last accessed 20 Oct 15

DJ[Department of Justice], Mar 2013, "Female Victims of Sexual Violence, 1994-2010"

<file:///C:/Users/unoura/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/MI9PC1ZB/fvsv9410.pdf>

Last accessed 18 Apr 15

NCES[National Center for Education Statistics], July 2014, "Table 303.10. Total fall enrollment in degree-granting postsecondary institutions, by attendance status, sex of student, and control of institution: Selected years, 1947 through 2023"

[http://nces.ed.gov/programs/digest/d13/tables/dt13\\_303.10.asp](http://nces.ed.gov/programs/digest/d13/tables/dt13_303.10.asp) Last accessed 20 Mar 15

NHTSA[National Highway Traffic Safety Administration]

2005, Staff, "Traffic Safety Facts 2005 Data: Alcohol"

<http://www-nrd.nhtsa.dot.gov/Pubs/810616.pdf> Last accessed 24 Jan 15

NIAAA[National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism]

Jul 2013, "College Drinking,"

<http://pubs.niaaa.nih.gov/publications/CollegeFactSheet/CollegeFactSheet.pdf>

Last accessed 24 Jan 15

NIH(National Institute of Health)

Jul 2013, National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism, "College Drinking,"

<http://pubs.niaaa.nih.gov/publications/CollegeFactSheet/CollegeFactSheet.pdf>

Last accessed 24 Jan 15

WH[White House Council on Women and Girls],

Jan 2014, "RAPE AND SEXUAL ASSAULT: A RENEWED CALL TO ACTION"

[https://www.whitehouse.gov/sites/default/files/docs/sexual\\_assault\\_report\\_1-21-14.pdf](https://www.whitehouse.gov/sites/default/files/docs/sexual_assault_report_1-21-14.pdf)

Last accessed 22 Jan 14

## 団体の報告書など

AAU, Sept 21, 15, "Report on the AAU Campus Climate Survey on Sexual Assault and Sexual Misconduct," Westat

[http://www.aau.edu/uploadedFiles/AAU\\_Publications/AAU\\_Reports/Sexual\\_Assault\\_Campus\\_Survey/Report%20on%20the%20AAU%20Campus%20Climate%20Survey%20on%20Sexual%20Assault%20and%20Sexual%20Misconduct.pdf](http://www.aau.edu/uploadedFiles/AAU_Publications/AAU_Reports/Sexual_Assault_Campus_Survey/Report%20on%20the%20AAU%20Campus%20Climate%20Survey%20on%20Sexual%20Assault%20and%20Sexual%20Misconduct.pdf) Last accessed 22 Sept 15

## 世論調査など

今回なし

## 新聞など

*NYT (The New York Times)*

Jan 22, 14, Calmes, Jackie, "Obama Seeks to Raise Awareness of Rape on Campus"

<http://www.nytimes.com/2014/01/23/us/politics/obama-to-create-task-force-on-campus-sexual-assaults.html>

Last accessed 17 Jan 16

Jul 30, 14, Steinhauer, Jennifer, "Senators Offer Bill to Curb Campus Sexual Assault"(上院の法案)

<http://www.nytimes.com/2014/07/31/us/college-sexual-assault-bill-in-senate.html>

Last accessed 31 Jan 14

Jan 27, 15, AP, "2 Ex-Vanderbilt Students Convicted of Rape" (バンダービルト学生、有罪判決)

<http://www.nytimes.com/2015/01/28/us/2-ex-vanderbilt-students-convicted-of-rape.html?ref=us>

Last accessed 28 Jan 15

Feb 6, 15, Preston, Julia, "Report Finds No Evidence of Abuse at Immigration Center in Texas" (不法移民センター)

<http://www.nytimes.com/2015/02/07/us/report-finds-no-evidence-of-sexual-abuse-at-texas-immigration-de>

- tention-center.html?ref=us Last accessed 7 Feb 15
- Feb 18, 15, Schwarz, Alan, “A Bid for Guns on Campuses to Deter Rape” (大学、自衛のためにガン)  
<http://www.nytimes.com/2015/02/19/us/in-bid-to-allow-guns-on-campus-weapons-are-linked-to-fighting-sexual-assault.html?ref=us> Last accessed 19 Feb 15
- Feb 19, 15, Cowan, Jon and Jim Kessler, “How to Hold Colleges Accountabl” (大学をアカウントブルに)  
<http://www.nytimes.com/2015/02/19/opinion/how-to-hold-colleges-accountable.html?ref=politics>  
 Last accessed 20 Feb 15
- Feb 23, 15, Hussey, Kristin and Tatiana Schlossberg, “12 at Wesleyan University Hospitalized for Drug Overdoses,” *The New York Times* (ウェズレイアン大学の薬物過剰摂取事件)  
<http://www.nytimes.com/2015/02/24/nyregion/12-at-wesleyan-university-hospitalized-for-drug-overdoses.html?hp&action=click&pgtype=Homepage&module=second-column-region&region=top-news&WT.nav=top-news> Last accessed 24 Feb 15
- Mar 11, 15, Fernandez, Manny and Erik Eckholm, “Expulsion of Two Oklahoma Students Over Video Leads to Free Speech Debate” (オクラホマ大学フラタニティ、バスでの合唱)  
<http://www.nytimes.com/2015/03/12/us/expulsion-of-two-oklahoma-students-leads-to-free-speech-debate.html?ref=us> Last accessed 12 Mar 15
- Mar 16, 15, Schlossberg, Tatiana, “Night of Drug Overdoses Jolts Liberal Tradition on Wesleyan Campus” (ウェズレイアン大学の薬物過剰摂取事件)  
<http://www.nytimes.com/2015/03/17/nyregion/night-of-drug-overdoses-jolts-wesleyans-liberal-tradition.html?ref=us> Last accessed 17 Mar 15
- May 12, 15, Anderson, Ashley and Elizabeth Deutsch, “Stop Assaults on Military Campuses” (軍の大学のレイプ)  
<http://www.nytimes.com/2015/05/12/opinion/stop-assaults-on-military-campuses.html?action=click&pgtype=Homepage&version=Moth-Visible&module=inside-nyt-region&region=inside-nyt-region&WT.nav=inside-nyt-region> Last accessed 13 May 15
- Jun 10, 15, Hoffman, Jan, “College Rape Prevention Program Proves a Rare Success” (予防プログラムは役に立たない)  
<http://www.nytimes.com/2015/06/12/health/college-rape-prevention-program-proves-a-rare-success.html?hp&action=click&pgtype=Homepage&module=second-column-region&region=top-news&WT.nav=top-news> Last accessed 11 Jun 15
- Jun 27, 15, Shulevitz, Judith, “Regulating Sex” (セックスを規制することの本質論)  
<http://www.nytimes.com/2015/06/28/opinion/sunday/judith-shulevitz-regulating-sex.html?action=click&pgtype=Homepage&module=opinion-c-col-right-region&region=opinion-c-col-right-region&WT.nav=opinion-c-col-right-region> Last accessed 28 Jun 15
- Jul 28, 15, Keenan, Sandy, “Affirmative Consent: Are Students Really Asking?” (学生はほんとうに確認しあっているか?)  
<http://www.nytimes.com/2015/08/02/education/edlife/affirmative-consent-are-students-really-asking.html?ref=us> Last accessed 29 Jul 15
- Aug 18, 15, Bidgood, Jess and Motoko Rich, “Rape Case Puts Focus on Culture of Elite St. Paul’s School” (高校の例)  
<http://www.nytimes.com/2015/08/19/us/rape-case-explores-culture-of-elite-st-pauls-school.html?hp&action=click&pgtype=Homepage&module=second-column-region&region=top-news&WT.nav=top-news>  
 Last accessed 19 Aug 15
- Aug 26, 15, Bazelon, Emily, “The St. Paul’s Rape Case Shows Why Sexual-Assault Laws Must Change” (レイプの定義を力の行使だけから広げる必要、Tuerkheimer の論文)  
<http://www.nytimes.com/2015/08/26/magazine/the-st-pauls-rape-case-shows-why-sexual-assault-laws-must-change.html?ref=us> Last accessed 11 Sept 15
- Sept 10, 15, Bazelon, Emily, “The Return of the Sex Wars: The decades-old intellectual debate simmering beneath the current conversation over sexual assault on campus” (ハーバード大における、教員グループの反対、Janet Halley)  
<http://www.nytimes.com/2015/09/13/magazine/the-return-of-the-sex-wars.html?hp&action=click&pgtype=Homepage&module=mini-moth&region=top-stories-below&WT.nav=top-stories-below>  
 Last accessed 13 Sept 15
- Sept 14, 15, Haberman, Maggie, “Hillary Clinton Vows to Confront Sex Assault Issue on Campuses” (ヒラリー、対応を公約)

<http://www.nytimes.com/politics/first-draft/2015/09/14/hillary-clinton-vows-to-confront-sex-assault-issue-on-campuses/?ref=us> Last accessed 15 Sept 15

Oct 6, 15, Ember, Sydney and Colin Moynihan, “To Revoke or Not: Colleges That Gave Cosby Honors Face a Tough Question” (コスビーを招く卒業式、皮肉)

<http://www.nytimes.com/2015/10/07/arts/television/to-revoke-or-not-colleges-that-gave-cosby-honors-face-a-tough-question.html?hp&action=click&pgtype=Homepage&module=second-column-region&region=top-news&WT.nav=top-news> Last accessed 7 Oct 15

Oct 14, 15, Medina, Jennifer, “Sex Ed Lesson: ‘Yes Means Yes,’ but It’s Tricky,” (カリフォルニア州のとりくみ)

<http://www.nytimes.com/2015/10/15/us/california-high-schools-sexual-consent-classes.html?hp&action=click&pgtype=Homepage&module=mini-moth&region=top-stories-below&WT.nav=top-stories-below>  
Last accessed 15 Oct 15

### **WSJ (*The Wall Street Journal*)**

Jan 1, 14, Elinson, Zusha, “Juveniles Sexually Abused by Staffers at Corrections Facilities: Scandal in Idaho Shines Light on Victimization of Young People by Staff” (少年院)

<http://www.wsj.com/articles/juveniles-sexually-abused-by-staffers-at-corrections-facilities-1420160340>  
Last accessed 2 Jan 15

Jan 29, 15, Belkin, Douglas, “Dartmouth Banning Hard Alcohol From Campus: Elite College Joins Other Schools in Responding to Party Culture” (ダートマスの例)

<http://www.wsj.com/articles/dartmouth-banning-hard-alcohol-from-campus-1422540038>  
Last accessed 30 Jan 15

Mar 13, 15, Phillips, Erica E., “Police Arrest 9 Los Angeles Students on Sex-Crime Charges: Authorities allege series of crimes on and off high-school campus” (高校レイプ)

<http://www.wsj.com/articles/police-arrest-9-los-angeles-students-on-sex-crime-charges-1426281657>  
Last accessed 15 Mar 15

### **WP (*The Washington Post*)**

Jun 16, 14, Hsu, Spencer S., “Congress poised to approve \$41 million to help clear backlog of untested rape kits”

[https://www.washingtonpost.com/local/crime/congress-set-to-approve-41-million-to-help-clear-backlog-of-untested-rape-kits/2014/06/16/2fd73bcc-eb61-11e3-b98c-72cef4a00499\\_story.html](https://www.washingtonpost.com/local/crime/congress-set-to-approve-41-million-to-help-clear-backlog-of-untested-rape-kits/2014/06/16/2fd73bcc-eb61-11e3-b98c-72cef4a00499_story.html) Last accessed 17 Jun 14

Jan 26, 15, Editorial Board, “Virginia lawmakers are rushing too fast to change the law on college sexual assault” (報告義務の立法化は、犠牲者の意志や気持ちへの配慮を欠く)

[http://www.washingtonpost.com/opinions/virginia-lawmakers-are-rushing-too-fast-to-change-the-law-on-college-sexual-assault/2015/01/26/67c42928-a344-11e4-b146-577832eafcb4\\_story.html?hpid=z4](http://www.washingtonpost.com/opinions/virginia-lawmakers-are-rushing-too-fast-to-change-the-law-on-college-sexual-assault/2015/01/26/67c42928-a344-11e4-b146-577832eafcb4_story.html?hpid=z4)  
Last accessed 27 Jan 15

Jan 28, 15, Dvorak, Petula, “Stop blaming U-Va. sorority sisters and other women for the campus rape problem” (昔の寮の規則)

[http://www.washingtonpost.com/local/stop-blaming-u-va-sorority-sisters-and-other-women-for-the-campus-rape-problem/2015/01/28/8229a446-a704-11e4-a06b-9df2002b86a0\\_story.html?hpid=z5](http://www.washingtonpost.com/local/stop-blaming-u-va-sorority-sisters-and-other-women-for-the-campus-rape-problem/2015/01/28/8229a446-a704-11e4-a06b-9df2002b86a0_story.html?hpid=z5)  
Last accessed 29 Jan 15

Feb 5, 15, Svrluga, Susan, “Harvard formally bans sexual relationships between professors and undergrad” (ハーバード大学、教員と学生の性関係を禁止)

<http://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/02/05/harvard-formally-bans-sexual-relationships-between-professors-and-undergrads/?hpid=z> Last accessed 6 Feb 15

Mar 10, 15, Svrluga, Susan and Nick Anderson, “Is SAE racist? Or did a racist chant on a bus tarnish 15,000 brothers?” (オクラホマ大学、社交クラブの人種差別の歌)

<http://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/03/10/is-sae-racist-or-did-a-racist-chant-on-a-bus-tarnish-15000-brothers/?hpid=z5> Last accessed 11 Mar 15

Mar 24, 15, Paquette, Danielle, “At Penn State, one girl’s rule at frat parties: Don’t go upstairs” (ペン・ステイト、二階に上がっていけない)

[http://www.washingtonpost.com/business/economy/at-penn-state-one-girls-rule-at-frat-parties-dont-go-upstairs/2015/03/23/1f87f318-d0a0-11e4-a62f-ee745911a4ff\\_story.html](http://www.washingtonpost.com/business/economy/at-penn-state-one-girls-rule-at-frat-parties-dont-go-upstairs/2015/03/23/1f87f318-d0a0-11e4-a62f-ee745911a4ff_story.html)

- Last accessed 24 Mar 15
- Apr 5, 15, FARhi, Paul and T. Rees Shapiro, “Rolling Stone retracts discredited U-Va. rape story,” (コロンビア大学調査チームの発表)  
[http://www.washingtonpost.com/lifestyle/style/inquiry-of-rolling-stone-u-va-rape-story-finds-series-of-journalistic-lapses/2015/04/05/666e3932-c8de-11e4-a199-6cb5e63819d2\\_story.html?hpid=z1](http://www.washingtonpost.com/lifestyle/style/inquiry-of-rolling-stone-u-va-rape-story-finds-series-of-journalistic-lapses/2015/04/05/666e3932-c8de-11e4-a199-6cb5e63819d2_story.html?hpid=z1)  
Last accessed 6 Apr 15
- Apr 29, 15, Shapiro, T. Rees, “Greek-letter college groups lobby Congress for housing tax code change” (大学のfraternities and Sororities)  
[http://www.washingtonpost.com/local/education/greek-letter-college-groups-lobby-congress-for-housing-tax-code-change/2015/04/29/bdeb7000-ee9d-11e4-a55f-38924fca94f9\\_story.html](http://www.washingtonpost.com/local/education/greek-letter-college-groups-lobby-congress-for-housing-tax-code-change/2015/04/29/bdeb7000-ee9d-11e4-a55f-38924fca94f9_story.html)  
Last accessed 30 Apr 15
- Jun 12, 15, Staff, “Poll: One in 5 women say they have been sexually assaulted in college” (重要な統計)  
<http://www.washingtonpost.com/graphics/local/sexual-assault-poll/> Last accessed 14 Jun 15
- Jun 16, 15, Clement, Scott, “How did the Post-Kaiser survey find 1 in 5 college women were sexually assaulted?” (5人に一人の統計、数え方に疑問も)  
<http://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/06/16/how-did-the-post-kaiser-survey-find-1-in-5-college-women-were-sexually-assaulted/> Last accessed 17 Jun 15
- Jun 17, 15, Svriuga, Susan, “Need help after a sexual assault? Want to help someone else? Here are some options” (ホットライン)  
<http://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/06/17/need-help-after-a-sexual-assault-want-to-help-someone-else-here-are-some-options/> Last accessed 18 Jun 15
- Jul 7, 15, Editorial Board, “Virginia needs to test its 2,369 rape kits” (レイプは全国規模の流行病)  
[http://www.washingtonpost.com/opinions/virginia-needs-to-test-its-2369-rape-kits/2015/07/07/66d95c0a-24da-11e5-b72c-2b7d516e1e0e\\_story.html?hpid=z4](http://www.washingtonpost.com/opinions/virginia-needs-to-test-its-2369-rape-kits/2015/07/07/66d95c0a-24da-11e5-b72c-2b7d516e1e0e_story.html?hpid=z4) Last accessed 8 Jul 15
- Jul 9, 15, Hobson, Will, “Lawyers for rape accusers of Kobe Bryant, Jameis Winston altered U.S. campus culture” (コロラドの二人の弁護士活躍がキャンパスカルチャーの歴史を変えつつある)  
[http://www.washingtonpost.com/sports/seeking-justice-for-women-who-say-theyve-been-attacked-by-athletes/2015/07/09/6683224c-23f7-11e5-aae2-6c4f59b050aa\\_story.html?hpid=z5](http://www.washingtonpost.com/sports/seeking-justice-for-women-who-say-theyve-been-attacked-by-athletes/2015/07/09/6683224c-23f7-11e5-aae2-6c4f59b050aa_story.html?hpid=z5)  
Last accessed 10 Jul 15
- Jul 19, 15, Brown, Emma, “To address college sexual assault issue, some say kids need more sex education” (NCLB改定において、高校に性関係教育を義務づけ)  
[http://www.washingtonpost.com/local/education/to-address-college-sexual-assault-issue-some-say-kids-need-more-sex-education/2015/07/19/b16756dc-2737-11e5-b72c-2b7d516e1e0e\\_story.html](http://www.washingtonpost.com/local/education/to-address-college-sexual-assault-issue-some-say-kids-need-more-sex-education/2015/07/19/b16756dc-2737-11e5-b72c-2b7d516e1e0e_story.html)  
Last accessed 20 Jul 15
- Jul 20, 15, Svrluga, Susan, “A ‘scarlet letter’ for students implicated in sex assaults: D.C. bill sparks debat,”(DCの改革)  
<http://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/07/20/a-scarlet-letter-for-students-implicated-in-sex-assaults-d-c-bill-sparks-debate/> Last accessed 21 Jul 15
- Jul 29, 15, Svrluga, Susan, “Do students get a fair hearing? An effort to change how colleges handle sexual assaults” (下院の法案)  
<http://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/07/29/do-students-get-a-fair-hearing-an-effort-to-change-how-colleges-handle-sexual-assaults/> Last accessed 30 Jul 15
- Sept 22, 15, Shapiro, T. Rees, “The birds, the bees, beers and STDs: Sex 101 begins at Northwestern University” (対応としての性教育)  
<https://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/09/22/the-birds-the-bees-beers-and-stds-sex-101-begins-at-northwestern-university/> Last accessed 23 Sept 15
- Oct 2, 15 Rudder, Christian, “Five myths about online dating” (online dating はフックアップの象徴)  
[https://www.washingtonpost.com/opinions/five-myths-about-online-dating/2015/10/02/a344ba92-5be2-11e5-8e9e-dce8a2a2a679\\_story.html](https://www.washingtonpost.com/opinions/five-myths-about-online-dating/2015/10/02/a344ba92-5be2-11e5-8e9e-dce8a2a2a679_story.html) Last accessed 4 Oct 15
- Oct 4, 15, Mitchell, Cleta and Trent Lott, “Rethinking How We Deal with Campus Sexual Assault” (処罰の強化)  
[https://www.washingtonpost.com/opinions/rethinking-how-we-deal-with-campus-sexual-assault/2015/10/04/8b69c744-6aa3-11e5-9bfe-e59f5e244f92\\_story.html](https://www.washingtonpost.com/opinions/rethinking-how-we-deal-with-campus-sexual-assault/2015/10/04/8b69c744-6aa3-11e5-9bfe-e59f5e244f92_story.html) Last accessed 5 Oct 15
- Oct 5, 15, Stein, Perry, “GWU fraternity is planning a record-breaking game of red light, green light to combat sex assaults.” (game of red, green and yellow cules)

<https://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2015/10/05/gwu-fraternity-is-planning-a-record-breaking-game-of-red-light-green-light-to-combat-sex-assaults/> Last accessed 6 Oct 15

Jan 14, 16, Kueppers, Courtney, “American Association of University Women challenges federal data on college sexual assault” (91% 大学が、2014 年度、レイプの届はなかったと、教育省に報告)

<https://www.washingtonpost.com/news/grade-point/wp/2016/01/14/american-association-of-university-women-challenges-federal-data-on-college-sexual-assault/>

Last accessed 15 Jan 16

#### 法務省

2014.11 「平成 26 年版犯罪白書のあらまし」

[http://www.moj.go.jp/housouken/housouken03\\_00077.html](http://www.moj.go.jp/housouken/housouken03_00077.html) Last accessed 30 Oct 15

(2016.1.18 受稿, 2016.1.19 受理)